

ペーパークラフト

みやこひらつかこふん

宮古平塚古墳出土埴輪 3種

宮古平塚古墳（奈良県磯城郡田原本町大字宮古）は、最近の発掘調査で確認された造り出し付の方墳です。墳丘本体は1辺20m前後と考えられます。

この古墳からは、太鼓形埴輪をはじめ、多数の形象埴輪が出土しました。今回新たにペーパークラフトとたてがた いわみがた ゆぎがたなった3点は、盾形・石見型・靱形埴輪です。



石見型埴輪（下）と靱形埴輪の出土状況



石見型埴輪



ゆぎ
靱形埴輪

盾形埴輪は、きょしもん あ鋸歯文と網じろもん代文で飾られています。

石見型埴輪は、三宅町の石見遺跡でみつかったことからその名がつけられました。ぎょくじょう玉杖の飾りをかたどったもの、という意見が有力です。上半に装飾の線刻がみられます。

靱形埴輪の「靱」は、弓矢の束を背負うための入れ物です。線刻で弓矢5本が表現されています。丸い粘土がやじり鏃の根元に張り付けられているのはかぶらや鏃矢を表現したものかもしれません。